

みらい



JA鹿児島みらいフェア(P5)

9月号もくじ

- | | | | |
|-----|-----------|-----|--------------|
| P2 | みらいを繋ぐ | P13 | 持続可能な社会を目指す! |
| P3 | 新たな未来の創造 | P13 | nagomi vol12 |
| P4 | トピックス | P13 | 地産地消・国消国産 |
| P8 | 女性部通信 | P14 | 読者からのおたより 他 |
| P9 | 食農教育 | P15 | お楽しみクイズ |
| P10 | 支店企画 | P16 | アートの広場 |
| P11 | 家庭菜園 | | |
| P11 | 不動産情報 | | |
| P12 | 旬を食べよう | | |
| P12 | JADDO優待店舗 | | |





みらいを繋ぐ

園芸

吉田南支店管内

枇榔 直生さん(27歳)

就農して7年。吉田南支店管内で露地とハウスで野菜を栽培しています。

当JA青年部の部員として若手生産農家と「鹿児島島の農業を盛り上げていきたい」と交流を図りながら、ハウスでのキュウリ栽培をメインに露地では季節野菜を作り直売所等で販売しています。

幼少期から親の農作業の手伝いをして育ち、迷うことなく農業の道に進んだ枇榔さん。父親から栽培技術や管理作業など野菜作りのノウハウを学びながら、いつか憧れの父親に近づけるようにと日々、野菜作りに取り組んでいます。

枇榔さんは、父親から受け継いだ栽培技術を軸にスマート農業を取り入れ、ハウスではこれまで換気やかん水など自分の知識や勘にたよって作業をしていた農業スタイルを変え、機械を導入。農作業の労力軽減を図りつつ、昔ながらの栽培方法と現代のスマート農業の良い所を取り入れた農業を営んでいます。

2023年には念願の連棟ハウス(13a)が完成し、様々な品種がある中で自分のスタイルにあった品種を選び、9月と2月の年2作でキュウリの苗を定植し、1年のうち7ヶ月間

はキュウリを栽培しています。

365日、自宅と畑の往復であまり人と話す機会が少ない中で、唯一直売所への野菜の搬入の時売り場に居合わせた消費者の方との会話が楽しみで、野菜の話しやお薦め料理などテーマは様々ですが、色々な会話を楽しんでいます。

今年の7月に初めて中学生の職場体験学習の話があり日頃一人で行っている露地野菜の収穫や直売所への搬入など、二人で過ごした3日間はとても新鮮で楽しい時間でしたとほほ笑んでいました。

今後は「面積は現状維持で美味しいと言われる野菜を作りながら果菜類の方では売り上げ、反収をあげていきたい」と目を輝かせていました。



新たな未来の創造

「JA鹿児島みらい」が創造する
地域に根ざした協同組合



代表理事組合長
村山 眞一郎

持続可能な農業とくらしを守る

「食料安全保障対策の確立に向けた

施策の具体化」

令和6年度支店機能再構築の一環として、現在建設中である谷山北支店の11月の完成をもって、組合員の皆さまとの対話と協議を重ね、ご理解を得ながら、

合併当初から進めてまいりました、第一次支店再編修正計画は完遂を迎えますが、ATM・購買店舗機能については、組合員・利用者の皆さまとの更なる対話と見直し等の再検討が必要となっており、次期中期3か年計画に反映していくことといたしております。

JA鹿児島みらいは、令和6年度上半期において、「農業者の所得増大・農業生産の拡大」、「中長期シミュレーション」、「組合員の意思反映」について、組合員との対話を通じて自己改革を実践しております。これまでのコロナ禍による生活環境の変化や、現在の新型コロナウイルス感染の再拡大も加わり、部門によってはコロナ禍前に戻りつつあるものの、全部門では事業計画を捉えることが出来ておりません。

一方、国際情勢の変化による生産資材価格の高止まりが続くなかで、物価高騰の流れに国産農畜産物は取り残され、適正な価格形成が進んでおらず、営農の継続が危惧される危機的状況にあります。そのため、更なるJA経営基盤の強化に取り組み、農家組合員

が今後も安心して営農を継続できるよう、下期においても持続可能な農業経営に向けた支援に取り組んでまいります。

JAグループでは、5月10日に令和6年度食料・農業・地域政策推進全国大会を開催し、改正される基本法に沿った形で、将来にわたる食料安全保障の確立が図られるよう次の事項を実現することを提案しました。

①食料安全保障の強化に向けた施策の具体化として、国民に食料を安定的に供給するとともに、農業農村が持続的に発展できるよう基本政策を確立する中長期にわたる万全な予算を確保すること。適正な価格形成の実現に向けて、速やかに法制化すること。な

どの政策提案が行われました。②農業の持続的な発展と農村振興として、多様な農業者による農地の確保、地域計画の実効性を確保する適正利用等経営の維持・発展を図り、生産性の向上・付加価値の向上を図

る。また、物流2024年問題に対応する環境整備などが提案されました。③みどりの食料システム戦略を踏まえた環境負荷低減の取り組みを推進するとともに、環境負荷低減に必要な機械・設備等の導入に向け

た支援強化などが提案されました。その後、5月29日には、ロシアによるウクライナ侵攻や気候変動などを背景に、食料安全保障の強化などを盛り込んだ「農政の憲法」と言われる「食料・農業・農村基本法」の改正法が四半世紀ぶりに成立し、食料不足への新たな対応を盛り込んだ法案やスマート農業の促進に関する法案も審議がなされております。

県農協中央会・県農政連では、令和7年度農畜産物対策に関する要請活動を生産者・JA関係者などの要請事項を積上げ、品目ごとに関係機関・団体と連携しながら、7月26日に県知事、県議会議長への要請、8月5日から6日には県選出国会議員・農林水産省への中央要請を実施いたしました。要請事項として、食料安全保障対策の確立に向けた施策の具体化をはじめ、畜産繁殖牛生産基盤強化対策や野菜経営安定対策・果樹経営支援対策及び共同利用施設等の整備強化を含め50項目を要請いたしました。

世界的に食料の逼迫が懸念される中、食料安全保障が重要課題であり、当JAでも、国民が必要とし消費する食材はできるだけわが国で生産する「国産産」を目指すため、組合員・地域の利用者・消費者と一体となり、できることから取り組んでおります。これからも、鹿児島市民に新鮮で安心・安全な農畜産物を提供するため、農家組合員が今後も安心して営農を継続できる農政対策に取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

年金友の会 ゲートボール大会開催

7月12日、中山ふれあいスポーツランド(屋内運動場)で年金友の会ゲートボール大会が開かれ、5支部10チームとJA関係者70人が参加してプレーを楽しみました。

今大会には、桜島支部から85歳以上の元気な高齢者9人の参加もあり、最高齢者は西白浜チームの藤坂宣夫さん(89歳)でコートの中を走りながらチームの仲間間的確な指示を出していました。

コートでは、白熱した試合が繰り広げられ、全勝した小山田チームが優勝しました。

2位は西白浜チーム、3位は吉野チームが入賞しました。



優勝

小山田チーム



第2位

西白浜チーム



第3位

吉野チーム



【桜島】
西村絹子さん
①19年
②みんなと楽しくプレーして
元気をもらえる
③暑さに負けて50点

86



【桜島】
藤坂宣夫さん
①20年
②健康とみんなが楽しく
させてくれる
③パッチリでした90点

89



【桜島】
濱村忠敬さん
①20年
②健康維持、毎日を楽しく
過ごすため
③1番でした

86



長寿賞

①ゲートボール歴
②ゲートボールの魅力
③今大会の調子



【桜島】
川島壽子さん
①8年
②健康のためとゲートが
楽しい
③まあまあの80点でした

85



【桜島】
日高キクエさん
①10年以上
②みんなと会って練習する
のが楽しい
③あまりよく無かったけど
楽しかった

87



【桜島】
上山サダオさん
①30年以上
②健康のためとみんなと
ワイワイ楽しめる
③パッチリの満点でした

87



【桜島】
四元行男さん
①14年
②ポケ防止と友達づくり
③ちよんごしたから90点

85



【桜島】
横山俊雄さん
①16年
②元気と健康のために続け
ている
③まあまあで80点

86



【桜島】
泊サチさん
①18年
②健康につながっている
③70点ぐらいでした

85

2024サマーフェスタ

J A鹿児島みらいサマーフェスタ in かんまちあ

7月27日、かんまちあで地域農家・生産者応援をテーマに「J A鹿児島みらいサマーフェスタ in かんまちあ(通称：サマーフェスタ)」を開催しました。

今回のサマーフェスタでは、地域住民への理解醸成やPRを目的に「食べて応援」「買って応援」の2つのテーマで、管内の農畜産物の地域住民へのPR、青年部(畜産・園芸)を中心に管内の生産者の支援イベントを初めて実施しました。

「食べて応援」エリアでは、「夏をのりきるスタミナランチ」として50組250人がBBQを通じて鹿児島黒牛や鶏・豚肉などを堪能。お楽しみ抽選会もあり、選べるギフトカードや食事券や青年部の野菜の詰め合わせセットがプレゼントされました。

「買って応援」エリアでは、「青年部マルシエ」として、A5ランクの鹿児島黒牛の販売を中心に当J Aの青年部が丹精込めて作った旬の野菜が特別価格で販売されました。

その他にもJ Aの事業ブースや無料で楽しめる縁日コーナー、たった10秒で野菜摂取状況が計測できる「ベジメーター」も設置され、多くの来場者が野菜摂取量を計測する姿もあり、会場には賑やかな声が響き渡っていました。



おいどん市場与次郎館で 第8弾J A鹿児島みらいフェア開催

7月21日、おいどん市場与次郎館Present's J Aフェア・第8弾J A鹿児島みらいフェアを開き、大勢の来場者で賑わいました。

おいどん市場与次郎館では、地元産の葉物野菜を中心にゴーヤーやカボチャ、盆花として人気のホオズキのほか、鹿児島黒牛の牛肉が数量限定の特別価格で販売されました。

また、青年部がエフツー畑で育てたジャガイモの詰め放題ブースやフレッシュミズの米粉フッキー、女性部による手作りのドレッシングやめんつゆの加工品を販売し、多くの来店者が買い物を楽しんでいました。

今回、お楽しみ抽選会もあり、特賞の鹿児島黒牛サーロインステーキ・ロースライスや桜島小みかんサイダー、新鮮野菜がプレゼントされました。



2024 広報誌モニター意見交換会

7月22日、2024年度第1回広報誌モニター意見交換会を本部で開催、モニターと関係者21人が参加しました。

当JAでは、18年から広報誌モニター

制度を導入し、広報誌について意見や要望、誌面内容の改善、新たな企画記事の提案などモニターからの意見を伺い、検討・協議し、誌面内容のレベルアップ、充実した読みたくなる広報誌作りに繋がっています。

24年度は22人の応募があり、広報誌8月号から25年の1月号までの半年間、毎月発行される広報誌のモニターとして活動します。

意見交換会では、村山眞一郎組合長からモニターに委嘱状が手渡されたあと、広報誌モニター制度や広報・PR活動、23年度にモニターの意見を反映させた誌面の改善内容や意見・要望等の活用について説明しました。

また「広報誌のレイアウトについて」をテーマにした意見交換会では、モニターから貴重な意見が出され、今後検討を重ね誌面の充実を図ることを伝えました。

次回の広報誌モニター意見交換会は25年2月開催を予定しています。



産地づくり10年ビジョン会議

7月3日、2024年度産地づくり10年ビジョン実践委員会が本部で開催され、生産者代表や地域振興局、鹿児島市、関係者ら29人が参加しました。

同委員会は、21年から地域農業の活性化と農家所得の向上を目的に、軟弱野菜や力ボチヤ、桜島大根、桜島果樹、直売所、生産牛等の10年後を見据えた営農ビジョン(数値編・戦略編)を策定し、強い農業の仕組みづくりに取り組んでいます。

会では、村山眞一郎委員長(JA組合長のあいさつ)のあと、営農指導員らが23年度の実践状況を報告し、24年度の実践計画として重点実施事項5項目(産地育成、担い手育成、経営支援、事業支援、安心安全)について説明しました。

今後は、10年ビジョン目標達成に向けて重点施策及び取り組み計画を実践しながら、営農・経営指導強化を図ります。



肉用牛部門技術研修会へ青年部参加

7月10日、谷山地区で地域振興局農政普及課主催の「2024年度肉用牛部門技術研修会」が開かれ、指導農業士や鹿児島県、鹿児島市、青年部畜産支部の会員ら27人が参加しました。

現地研修では、遊休農地を活用した放牧実証証場として、管内で2ヶ所目となる青年部畜産支部のちがまゆうぎ千電裕樹支部長のほ場(谷山地区)で、農政普及課の石原浩二技術専門員が入牧から2週間経過した放牧地の現況について説明したあと、参加者は放牧牛の行動や野草、電気柵等を見学しました。

引き続き、室内研修へと移り、農政普及課の担当者らが自給飼料の生産・利用拡大をテーマに飼料生産と増産に向けた取り組みや放牧をめぐる情勢等のほか繁殖雌牛の飼養管理「分娩間隔の短縮」として肉用牛繁殖経営の安定化のポイントや成雌牛の維持に要する養分量、制限哺乳等について説明しました。



玉龍中学校職場体験 直売所は農家を支える仕事

7月11日と12日の2日間、農産物直売所「ごしよらんで」、玉龍中学校3年生の生徒2人が職場体験学習に訪れました。



直売所では、清澤美晴さん^{みはる}14歳と菊川純礼さん^{すみれ}（14歳）がレジの補助や商品の陳列、店内清掃などを体験しながら、搬入に訪れた農家や来店者との会話を楽しんでいました。

生徒らは「スーパーと直売所の違いはお客さんとの会話が楽しめるんですね。2日間多くの人に話しかけられて本当に嬉しかった。直売所の仕事は農家を支える素敵な仕事なので少しでも農家の人のお手伝いが出来て大満足です」と話していました。



水稲中・後期講習会

7月16日から19日の4日間、水稲中後期講習会が南部地区から北部地区の17ヶ所で開かれ、120人が参加しました。



北部地区の田入道公民館前と皆与志事業所では、長谷謙佑^{けんすけ}農指導員が6月の田植えから1ヶ月が経過した稲の現状や新たな使用農薬、病害虫の発生状況等について説明しました。

また、2024年度は吉田地区において箱剤（5剤）の試験を実施しており、25年度は病害虫への農薬効果等を生産農家にデータ内容をまとめて結果報告をする^と伝えました。

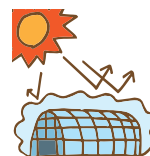
長谷農指導員は「例年より早い段階から気温が高く、病害虫の発生も出始めているので、日々田んぼの状況等を把握して早めの防除等を心がけてほしい。今後は管内を巡回しながら農家への声掛けを行い良品質の米作りに繋げたい」と話していました。

（5剤）の試験を実施しており、25年度は病害虫への農薬効果等を生産農家にデータ内容をまとめて結果報告をする^と伝えました。



太陽光遮光剤散布

吉野・吉田南支店管内で7月末から2024年度太陽光遮光剤「Q3ホワイ」の散布作業が始まりました。



温暖化対策として、太陽光遮光剤を散布しハウス内の極端な温度上昇の防止や作業環境の改善、作物の生育促進のため基材等を貸出しており、8月上旬までに軟弱野菜生産部会（通称・よしの優）を中心にして10戸の生産農家が散布を行いました。

同部会の仮屋考会長のハウス（25棟）では、23年度に引き続きドローンでの試験散布と動噴機を使った手散布を行い試験散布のハウスでは、遮光剤の効果期間（3ヶ月程度）や生育状況等を調査します。

仮屋会長は「連日30度以上の気温が続く中で、遮光剤のおかげで夏でも元気で野菜を安定出荷できる。暑さに負けない野菜作りを頑張りたい」と話していました。



女性部通信

■谷山東部支部 オカリナグループ デイサービスセンター とつづ慰問

7月5日、メンバー9人がデイサービスセンターとつづへ慰問活動に訪れ、オカリナ演奏を披露しました。



同グループは施設の利用者にオカリナの演奏を聴いて楽しい時間を過ごしてほしいと慰問活動を年1回行っており、今回は童謡を中心に「夕焼け小焼け」や「きらきら星」「ふるさと」など5曲を演奏しました。

演奏を聴いた施設利用者の西法子さん(86歳)は「子どもの頃を思い出して一緒に歌い、楽しい時間になりました」と涙を浮かべて喜んでいました。

同グループのリーダー古川厚子さん(71歳)は「利用者の皆さんが喜ぶ姿を見てこちらも元気をもらいました。これからも慰問活動を続け、利用者と一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います」と笑顔で話していました。



■谷山東部支部 料理グループ 豆乳とおからを使った 料理教室開催

7月19日、谷山東部生活改善センターで料理教室を開き、10人が参加しました。



料理教室では、マル球産業(株)の竹下すえのマネージャーを招き「豆乳は栄養の宝庫」と題した座学で、豆乳が女性ホルモンに似た働きをすることから乳がんや骨粗しょう症の予防になることなどを学びました。

その後、同社の調理器具「スープの力」で作った豆乳とおからで「おからキッシュ」「おからの酢の物」「おからドーナツ」など6品を作りました。

参加者は「どれも簡単に作れて美味しかった。健康のために食事に豆乳とおからを取り入れたい」と話していました。

緒方由美子支部長は「今回の料理教室を通じて豆乳の力を改めて知り勉強になった。部員らと食の大切さを再認識できた」と笑顔で話していました。



■男の料理教室 (南部地区)開催

7月18日、谷山東部生活改善センターで男の料理教室を開き、5人が参加しました。

同料理教室は、女性部が講師となつて食と健康、基本の料理法を学び、料理を作る楽しさを体験してもらう目的で開催しています。

南部地区1回目となった今回は、旬の夏野菜をふんだんに使った「夏野菜のトマトパスタ」や「カボチャの冷静ポタージュ」などボリューム満点の4品を作りました。

料理中は、女性部が野菜の切り方などを優しくアドバイスし、和気あいあいとした雰囲気で作る楽しさを味わっていました。



出来上がった料理は全員で試食し、参加者は「料理をもつと作れるようになりたい」と意気込みを話していました。



■小野支部 家の光料理教室 新メンバーを迎え 伊敷支店で初開催

7月16日、家の光料理教室を開き、部員12人が参加しました。

6月24日にオープンした伊敷支店で来店者へおもてなしを行う部員を見て楽しそうだと女性部に加入した新メンバー1人を迎え、同支店調理室で初めての料理教室を楽しみました。

料理教室では、部員の小村悦子管理栄養士が家の光の過去のレシピを活用して献立を考え「トウモロコシの豆乳ポタージュ」「オクラ入りつくね」「キュウリ・ツナ・梅肉の混ぜご飯」など旬の夏野菜を使った5品を作りました。



川田原光美支部長は「新支店で初めての家の光料理教室ができて部員らも喜んでいました。新メンバーも楽しく活動していたし、部員同士の親睦が図れた」と嬉しそうでした。



【全体運】考え事が多そうですが神経質になり過ぎないように。土と触れ合う時間が心を癒やしてくれます。観劇にツキ
【健康運】家の中の危険箇所をチェックしてけがを防止
【幸運の食べ物】サトイモ

【全体運】実り多い月。収穫を楽しみましょう。会合には出席を。楽しいことは率先して取り組んで。連絡を密にすると◎
【健康運】体操教室に参加を。仲間と一緒に取り組んで
【幸運の食べ物】リンゴ

★9月の運勢★
牡羊座
3/21~4/19

牡牛座
4/20~5/20

青年部エフツー畑で初のジャガイモ収穫

7月17日、坂之上支店管内の野頭地区にある青年部のエフツー畑で部員とJA職員らがジャガイモを収穫しました。

青年部は、2024年4月から新たな活動として「耕作放棄地復活プロジェクト」をスタートし、夏野菜やジャガイモ、サツマイモ、伝統野菜の伊敷長なす等を定植し、第一号のモデル地として野菜作りに取り組んでいます。

4月中旬に20kgの種イモを定植して約3ヶ月、部員らは「どんなジャガイモが出てくるか楽しみ。収穫時期が多少ずれ込んだけど出来は上々。収穫したジャガイモで「ロック」にして食べてみたい」と話していました。

収穫した約60kgのジャガイモは、イベントのお楽しみ企画「詰め放題」として消費者にリーズナブルな価格で販売されました。



青年部がこども食堂に食材提供

7月21日、青年部はおいどん市場主催のJA鹿児島みらいフェアの日、チンゲンサイやコマツナ、カボチャ、トウガン、ゴーヤー、紅かいわれなど9種類の野菜をこども食堂に食材として提供しました。

同青年部では、2021年からJAみらいフェアで販売する野菜とは別に提供する野菜を部員らが持ち寄り、地元野菜を知ってもらい、こどもたちに美味しく食べてもらいたいと年2回こども食堂に食材を提供しています。

会場では、青年部の田中竜矢部長や部員らが野菜を箱に詰め、かごしまこども食堂支援センター『たくして』の神野友美さんに手渡し「いつも新鮮な野菜をありがとうございます。食材は『たくして』に一度保管して、こども食堂に配布します」と笑顔で話していました。

田中部長は「自分たちが作った野菜を食材提供できてよかった。色々な料理に活用して子供たちに届けてほしい」と話しました。



食育ハンドブック “いただきますの本”で畜産の仕事学ぶ

当JAはFMかごしまが制作する食育ハンドブック「いただきますの本2024」に協力し、教育委員会を通じ県内の全小学校478校の4年生を対象に約2万部が配布されました。

いただきますの本はA5版で全36ページのオールカラーで鹿児島の子供たちが食のありがたさを感じ、これからの未来を担っていきけるようにと思いを込めて発行しています。

当JAでは、2021年からFMかごしまとコラボして食育ハンドブック「いただきますの本」に野菜の収穫から選果・出荷・直売所で販売される工程や営農指導員の仕事紹介、ラディッシュ農家の活動など食をテーマに紹介し、食農教育の一環として取り組んでいます。

今回は、青年部畜産支部の千龍裕樹支部長の一日の仕事にリポーターの中島身依さんが密着して畜産農家あるあるなど写真を多く掲載して紹介しました。

千龍支部長は「食は色々な人の手を通して作られていることを学び、食への感謝の気持ちをもってほしい。この本を通じて畜産農家の想いや仕事を少しでも知るきっかけになれば嬉しい」と話していました。



支店企画

吉田南支店

6月12日、吉田南幼稚園の園児達が参加しJA共済交通安全教室が開催されました。県警察本部の警察官が腹話術で“ぜんちゃん人形”を使い3つの交通安全の約束を園児達に話し、114名の園児が真剣な眼差しで聞いていました。また、横断歩道の渡り方では瀬戸山支店長も初めて参加しバスのプラカードを持って手伝いをしました。支店に帰ってきた支店長は「とても可愛かった。」と園児達にとっても癒された様子でした。



最後には、園児達から素敵なメッセージカードと首飾りを頂きました。私達も交通ルールを守り事故のないように気を付けたいと思いました。

毎年7月7日の七夕に吉田南幼稚園の園児達が作った七夕飾りを持ってきてくれます。今年も、園児達の似顔絵や折り紙で作った赤や黄色のスイカの素敵な七夕飾りを持ってきてくれました。園児達の願いが叶いますように。



支店広報担当
山下職員

支店企画

中山支店

7月5日、ふれあいスポーツランドで「年金友の会中山支部グラウンドゴルフ予選会」が、梅雨時期ではありましたが天気に恵まれ無事に開催されました。

30℃を超える真夏日となりましたが、中山・桜ヶ丘地区の会員56人が参加し、日頃の練習の成果を発揮するなど、元気ハツラツなプレーがみられました。

上位40人については、9月25日に開催の当JA南部大会に出場いたします。



毎日の晩酌が楽しみ!!
今後も健康のためグラウンドゴルフを楽しみ、元気にがんばります。



西田明世さん
(真方グラウンドゴルフ同好会)

平 洋子さん
(木曜会)

長寿賞

娘が食事を作ってくれるおかげで、食事療法に取り組み健康管理にがんばっています。家では草取りなど体を自由に動かすようにしています。



支店広報担当
有馬職員

★9月の運勢★

獅子座

7/23~8/22

【全体運】おいしいものを食べたり芸術に親しんだり。秋を満喫すると開運。友人との外出にもツギがあります。絵手紙が吉
【健康運】香りの良い飲み物と好きな曲でリラックス
【幸運の食べ物】 キクイモ

乙女座

8/23~9/22

【全体運】パワフルに過ごせます。今月なら強気もプラスに。押してみるのもアリ。心のフォローは忘れずに
【健康運】ストレッチで体をほぐして血行を促進
【幸運の食べ物】 イチジク

家庭菜園



ミニダイコン

みずみずしくて甘い、とりたてダイコン

1. 種まき

小さなくぼみをつけて5粒の種を点まきに1か所に5粒の点まきにします。発芽までは4~5日。最後は1本だけを残すので、多少発芽が悪くても、心配ありません。



プランターの中央に、直径5cm、深さ1~2cmのくぼみをつける。プリン型のようなものを押しつけると簡単にできる。くぼみの間隔は15~20cm程度。



くぼみに種を5粒まく。種がくっつきすぎていると間引きがしにくいので、くぼみの縁に沿って間をあけてまく。土をかけて手のひらで押さえて、たっぷり水やりする。

2. 間引き・追肥

間引き3回、追肥は2回、じっくり根を太らせる

双葉が開いたら3本、本葉3枚で2本、本葉5枚で1本に間引きます。2回目の間引き後に化成肥料をまきます。3回目の間引きのあとに最後の追肥を。



1回目の間引きは双葉が開いたら。1か所3本に間引く。その後、本葉3枚で2回目の間引き。2本に間引き、化成肥料を1株あたり3~4gまく。

3回目の間引きは本葉5枚のとき。1か所1本にして、化成肥料を1株あたり3~4g株のまわりにまき、土が減っているようなら、新しい土を足す。

3. 収穫

根元の直径が7~8cmになったらとりごろ

2回目の間引き以後の間引き菜は、さわやかな辛みがおいしい葉ダイコン。

むだなく利用してください。



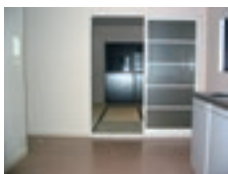
葉がやわらかい間引き菜は、おひたしや煮びたしで。



根が十分に太ったら根元を持って引き抜く。

不動産センターからのお知らせ

JR指宿枕崎線 慈眼寺駅徒歩18分		2DK
賃料	50,000円	
駐車場2台目紹介可♪ 周辺環境良好です!		
物件名	エクセリーヌホワイト 102号室	
所在地	鹿児島市和田1丁目4-16	
間取り	和6洋6 DK6	
敷金	2ヶ月	
駐車場	1台付き無料	
構造	軽量鉄骨造	
占有面積	40.6㎡	
築年月	1994年10月	



賃貸物件、家・土地の売買、リフォーム(外壁塗装・屋根・瓦・内装・浴室・トイレ・台所等)のご相談承ります。お気軽にお問い合わせください。

「売却物件」(土地・住宅・賃貸物件)のご相談承ります。(無料査定・秘密厳守) **お気軽にお問い合わせください。**

JA鹿児島みらい 不動産センター

鹿児島市東谷山2丁目22-23
JA鹿児島みらい 谷山東部支店2階
TEL 099-268-2263 FAX 099-260-9591
E-mail tny.100-105@ks-ja.or.jp
http://ja-kagoshimamirai.com/



★9月の運勢★
天秤座
9/23~10/23

【全体運】多方面から頼りにされて大変そうですが、やればやっただけのかががあります。上昇運です。前向きに捉えて
【健康運】カルシウムをしっかり取って骨密度をアップ
【幸運の食べ物】柿

蠍座
10/24~11/22

【全体運】状況が次第に整ってきます。今のペースを進めて。変化をうまく取り入れましょう。友人との外出にツキ
【健康運】活動的なほど◎。シェイプアップにも良いとき
【幸運の食べ物】ネギ

カボチャ

今年の十五夜は
9月17日



カボチャは、肌や粘膜を丈夫にし、免疫力を高めるβカロテンが豊富に含まれているのが特徴です。油との相性が良く、熱にも強いので揚げ物や炒め物などで油と一緒に摂るとβカロテンやビタミンEの吸収率が高まります。さらに、食物繊維も豊富で、生活習慣病や美容が気になる方にもオススメ。ゴマやゴマ油をあわせると抗酸化作用がアップします。

農産物直売所ごしよらんで購入の「中森 繁さんのカボチャ」を使いました☆



お月見にカボチャの白玉だんご

材料(20個くらい)

カボチャ(皮なしの状態) 100g
白玉粉…………… 100g
豆腐…………… 100g
砂糖…………… 30g
あんこ、きな粉 …… お好みで



作り方

- ①カボチャは電子レンジで(600w)2分30秒加熱し柔らかくする。
- ②①と白玉粉と豆腐を加えて混ぜる。
- ③砂糖も加えて、白玉粉の粉を潰すようにしながら混ぜ、直径2cmほどに丸める。(粒は多少残っていても大丈夫)
- ④沸騰したお湯に入れ、浮かんできたら1~2分茹でてから、水にとる。
- ⑤器に盛り、お好みであんこやきな粉を添える。

カボチャの三角春巻き

材料(15個分)

カボチャ…………… 2分の1個
クリームチーズ…………… 20g
塩こしょう…………… 少々
春巻きの皮…………… 5枚
揚げ油…………… 適量



作り方

- ①カボチャは種と皮を取り、一口大にカットし、ラップをして電子レンジで(600w)6分加熱する。
- ②熱いうちに①をなめらかになるまで潰す。
- ③塩こしょうで味付けしたら、クリームチーズを加え混ぜる。
- ④春巻きの皮を縦3等分にする。
- ⑤春巻きの皮の手前に③のをせ、包むように三角に折りたたんでいく。
- ⑥巻き終わりに水をつけ、はがれないように止める。
- ⑦フライパンに油をしき、きつね色になるまで揚げる。

JADDOカード優待店舗のご紹介

SEIKA SPORTS CLUB



セイカスポーツクラブでは、「健康づくり 幸せづくり」のもと、「お客様の健康づくりのお手伝いをすることで、その先の幸せに繋がってほしい」との思いで、運動が初めての方、縁のなかった方でも、スタッフが個々にあった運動の仕方を提案し、しっかりとサポートしてくれるのでどなたでも安心して通うことができます。

ジムマシンのほか、スタジオやプールがあり、スタジオではヨガやダンス、ピラティスや格闘技のレッスンなどを受けることができ、たくさんの方の選択肢の中で無理なく楽しく運動が続けられます。

室内なので天気や降灰に影響されることなく快適に運動ができるのも魅力。ジュニアスクールも人気です。スポーツクラブは随時見学OK、スクールは無料体験(予約制)もできます。明るく元気なスタッフが皆さまをお待ちしています。

JADDO
カード特典
【両店とも】

入会金 全コース50%割引

※キャンペーン実施期間除く
対象:会員およびその家族

【宇宿店】

住所 鹿児島市宇宿2丁目18-27
電話番号 099-255-4650
営業時間 (月・火・木・金) 9:00~23:00
(土) 10:00~22:00
(日・祝) 9:00~20:00

店休日 水曜日

駐車場 あり(190台)

S N S 公式Instagram、公式LINEあり

【アミュプラザ店】

住所 鹿児島市中央町1-1
電話番号 099-255-4051
営業時間 (月~金) 7:00~22:30
(土) 7:00~21:30
(日・祝) 9:00~20:30

店休日 第2・第4日曜日

駐車場 あり(アミュプラザ駐車場)

S N S 公式Instagram、公式LINEあり

★9月の運勢★
射手座
11/23~12/21

【全体運】 済んだと思っていたことがひっくり返されることがありそう。アフターフォローを心がけて。仕事優先が吉
【健康運】 エアコンの効き過ぎに注意。トイレは早めに
【幸運の食べ物】 ニンジン

山羊座
12/22~1/19

【全体運】 運勢は活気づき想定外の動きがありそう。ドキッとしますが乗ってみるのも一興。長期計画のスタートが吉
【健康運】 湿疹や虫刺され、小さなけがに気を付けて
【幸運の食べ物】 ダイコン

持続可能な社会を目指す!

SDGsの行動として、JAの具体的な取り組み事例を紹介し、組合員の皆様も様々な社会の課題とSDGsとのつながりを学び、今日から実践できる取り組みを共に考えましょう。

● JAフェア・サマーフェスタで対面販売(P5)

生産者の対面販売による消費者との交流を深め地元野菜の消費拡大PR



● 太陽光遮光剤散布(P7)

温暖化対策で気温上昇を防止し、ハウス内作業環境、作物の生育促進に効果



nagomi vol12

栄養満点 かごしまの野菜を食べよう 「ソフトベジタブルの魅力」 を発行しました

2024年夏号として地域コミュニティ誌「nagomi vol12」を発行しました。

今回は葉物野菜5品目を「ソフトベジタブルの魅力」として紹介しています。

日頃からよく食べている野菜の栄養素などを詳しく紹介していますので是非手にとってご愛読ください。アンケートによるプレゼントもありますのでご応募お待ちしております。



ち さん ち しょう 地 産 地 消 で、 地域の食と農業を元気に!

地域で生産したものを、地域で消費する。それが「地産地消」。その積み重ねが「国消国産」です。



「地産地消」は新鮮でおいしい。

地域でとれたものだから、新鮮で安心です。そして、どれもおいしい!



「地産地消」で地域を元気に。

地域の農業や経済を応援することになり地域に活気を生みだします。



「地産地消」は環境に優しい。

輸送で出るCO₂の排出を減らせる「地産地消」。日本中で取り組み、 「国消国産」の大きな力に。



日本でとれた、おいしくて安全・安心な農畜産物を食べよう!

売り場で国産のものを選ぶ。JA直売所で買う。外食する時も国産の食材を使っているお店を選ぶ。それが、日本の農業を応援し、元気にしていくことにつながります。



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

読者からの

おたより



★7月号みらいを親子で読んでいますと

「玉江小学校の伊敷長なす植え付け」販売に目が留まりました。郷土野菜があると知ったばかりの小学生の娘は同じ小学校が伊敷長なすを作り、育てて販売まで行ったことに大変感激し、社会科の夏休み研究を「郷土野菜」にしたいと意気込んでいます (ペンネーム ぽんだ)

★友人からいただいたスイカを食べたあと白い部分を「漬物」にしました。シャキシャキ感がたまりませんでした。種と皮だけがゴミになりました。大事にすればゴミは出ませんね(ペンネーム 釣り吉)

★主人と「お楽しみクイズ」に挑戦しています。どなたかが先に答えを出すか競争しています。夫婦の楽しいひとときをあげがとつごいいます。こちらからお互いに刺激しながら取り組みたいと思います (ペンネーム ビすこい)

★僕は野菜が大好きです。野菜を生産していただく農家の人に感謝しています

(ペンネーム プルチャャ)

★趣味がウオーキングで花野の田んぼは稲がいきいき育っています。帰り無人販売で野菜を買うのも楽しみでもとても美味しく食べています (ペンネーム ロトちゃん)

★JAの年金友の会総会があると通知がきましたが参加費が3500円と高く自分らは貧乏人にはとてもそんな余裕はなくて行きたくても行けません。近くでいいですからもつと気軽に参加できる他のイベントを企画してください。お願いします (ペンネーム まくくん)

★今年も鹿児島の郷土菓子あくまきを作りました。食生活改善グループの方の力をお借りして圧力釜で作りました。美味しさと皆さまがおっしゃって下さいました (ペンネーム ユッキー)

★かんまちあでのイベントに行きました。お肉も野菜もお安く美味しかったです。次回はBBQも参加したいと思います。暑い日が続きますがお体に気を付けて仕事してください (ペンネーム みーちゃむ)

理事会だより

第5回(7月26日)

① 新規貸出案件について

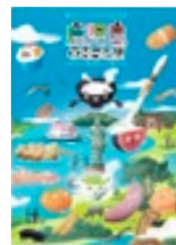
JA鹿児島みらい LINE公式アカウント

@rjp1931r



JAのイベントやキャンペーンなどお得な情報をお届けします。「友だち追加」からID検索またはQRコードで登録してください。

通年版ギフトカタログ 2024-2025



鹿児島ふるさと便

～大切な方へ、鹿児島からの贈りもの。

最寄りのJAにておたすねください。

フリーダイヤル 0120-722-188

- 商品のお届けについて
ご注文受付日より約10日程度かかる場合がございます。
※メーカーより直営でお届けするため、異なる商品を2点以上お申し込みの場合、お届け日が異なる場合がございます。
- お申し込み受付期間
2024年4月より
2025年3月31日頃まで
- 送料について
本カタログ掲載価格は商品代金(消費税別)の金額で別途送料が必要となります。
送料・同梱発送についての詳細は本カタログP23ページをご覧ください
- お申し込み方法
専用申込書に必要事項をご記入の上、
最寄りのJAにてお申し込みください。



正解者の中から抽選で10名の方に農協共通商品券をお送りいたします。

応募方法

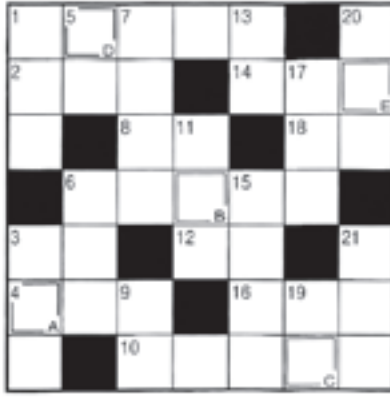
左下のハガキを切り取り、必要事項をご記入の上、

- ①支店窓口にお持ちいただくか、
- ②切手を貼ってポストに投函してください。

[締切] 2024年10月10日(木) 必着

クイズの答えにおたよりを添えて、どしどしご応募ください。身近な地域の話題・イラスト・絵手紙・写真などの作品もお待ちしております。
[おたより]クイズの答えにまつわるエピソードのほか、JAに対するご意見・ご感想、良かった記事など教えてください。

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

⇒ヨコのカギ

- 1 9月2日は——の日。ハズレくじ対象の抽選もあります
- 2 ドミノとかドファアとか
- 3 握りずしを数えるときに使う言葉
- 4 ミョウガはこの部分や若い茎を食べます
- 6 前身は江戸です
- 8 敬老の日に——へ日本酒を贈った
- 10 素晴らしい考えのこと
- 12 南の島に似合う植物
- 14 ——手振りを交えて説明した
- 16 急須のお茶を注ぎます
- 18 ノブを持ってあげます

↓タテのカギ

- 1 わらなどで編んで米や炭を詰めます
- 3 「や」のこと
- 5 長く連れ添った夫婦は似てくるとか
- 6 アキアカネ、オニヤンマといえは
- 7 からすみはボラなどの——を加工したものです
- 9 食パンのふちの部分
- 11 筒に強く息を送り込んで矢を飛ばします
- 13 派手なところがありません
- 15 明日の授業に備えて——をした
- 17 房で売られる果物
- 19 神の起こした洪水を箱舟で乗り越えました
- 20 天竺牡丹(てんじくばたん)とも呼ばれるキク科の花
- 21 一時的に寝ること

7月号お楽しみクイズ 当選者発表(敬称略)

- *うめちゃん(西伊敷)
- *立子ちゃん(山田町)
- *座敷隊(武岡)
- *みーちゃん(紫原)
- *ぼんだ(伊敷台)
- *梅干しばあさん(明和)
- *ペコリ(千年)
- *れいちゃん(大迫町)
- *吉野のキヨツン(吉野町)
- *レモンティ(吉野町)



■7月号の答え

A	B	C	D	E
サ	ル	ス	ベ	リ

キリトリ線

▼本誌へのご意見、身近な地域の話題、イラスト、絵手紙、写真などお書きください。

ペンネーム

× Takara standard 水廻り体感フェア

イベント期間 9/20(金)・21(土)

場所 鹿児島ショールーム
〒891-0115 鹿児島市東開町4-19

時間 10:00~16:00

来場者には記念品をプレゼントします。

ご来場特典

ご来場されたお客様で、アンケートに回答いただいた方の中から抽選で豪華賞品をプレゼント

リフォームキャンペーン期間：9/1(日)~9/30(月)

ご成約特典

キャンペーン期間中、ご成約金額30万円以上のお客様に
成約金額の1%分の商品券をプレゼント

ご来場の際は下記の当JA不動産センターへ事前予約の電話をお願いします

JA鹿児島みらい

不動産センター TEL 099-268-2263

素敵なイラスト・絵手紙・写真をおくっていただきありがとうございます。全ての作品を掲載したいのですがスペースが限られているためご紹介出来ない作品もあります。ご了承ください。

アートの広場

みらい

9
2024

JA鹿兒島みらい
広報誌

No.48

発行／JA鹿兒島みらい 〒892-0817
発行責任者／代表理事組合長 村山 真一郎

鹿兒島市小川町27番17号

ホームページアドレス／<https://ja-kagoshimamirai.or.jp/>

印刷／瀬上印刷株式会社



ありなり



まゆちゃんバアバ



ハリネズミ



ヒーちゃん



星蛾美子



さくら



フッチーバアバ



松重文字



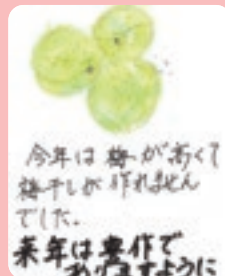
かぼちゃんぷるー



ペコリ



ペコリ



梅干しばあさん



ちひろ



アジサイ



つるひめ



つるひめ



たいちゃん



うば桜

農産物直売所ごしよらんで 「JA兵庫みらい 特産品フェア」 1日限定で開催します



開催日：2024年9月21日(土)
販売時間：9:30~17:00



今回「JAみらい間販売交流会」の一環として、JA兵庫みらいが9月に旬を迎える、生のいちじくやアスパラガス・いちじくようかん、洋食ソースなどの加工品など兵庫県の“うんまかもん”を数多く販売しますので、この時期にしか味わえない旬の果物や野菜を是非食べてみてください。



郵便はがき

切手を貼って下さい。
又はJA窓口へ

8 9 2 0 8 1 7

鹿兒島市小川町27番17号
JA鹿兒島みらい本部
広報誌 9月号

「お楽しみクイズ」係

9月号 クイズの答え			
お名前		年齢	
住所	〒 -		
電話番号			

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は本誌編集、抽選、商品発送以外の目的で使用することはありません。本店、支店の窓口でも受け付けます。